

インド教職員招へいプログラム

(2022年11月6日～27日：オンライン開催)

募 集 要 項

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターでは、文部科学省の委託の元、「インド教職員招へいプログラム」を実施します。つきましては、以下の要領で同プログラムに参加する日本側の教職員15名のうち10名を公募にて募集します。

1. 背景

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）は、ユネスコの基本理念に基づき、多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現に資するため、アジア太平洋の人々と協働し、教育と文化の分野において地域協力・交流活動を推進しています。

ACCUは2001年より、未来を担う子ども達に影響力を持つ教職員を対象とした国際交流事業を実施しています。本事業は、教職員同士の交流を通して、お互いの国の教育制度、教育事情および文化について相互理解を深め、教職員自身が主体的なチェンジメーカーとして変容していく端緒を開き、ひいては多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現を目的としています。ACCUの教職員国際交流事業における日本のパートナー国は、2001年から韓国、2002年から中国、2015年からタイ、2016年からはインドが加わり、現在4ヶ国と連携、東アジアから東南アジア、南アジアに交流国を広げています。開始当初より現在までに、海外教職員は4ヶ国合わせて4,100人以上、日本教職員は1,100人以上が海を渡り、教育現場が舞台の国際交流を通して、これらの国々の相互理解と友好の増進に大きく貢献してまいりました。

日本とインドとの間の国際交流事業としては、2016年より「インド教職員招へいプログラム」が文部科学省、インド連邦政府教育省（MoE）、インド環境教育センター（CEE）の協力のもとで始まりました。第7回となる今年度は、2022年11月6日（日）から27日（日）までの期間、複数回にわたってインドの初等中等教育教職員15名と、日本側の受け入れ校および公募により集まった15名の日本の初等中等教育に携わる教職員を交えて、オンライン交流を実施します。

2. 本プログラムの目的

本プログラムの目的は、未来を担う子どもたちを育む教職員同士の交流を通して、日印の教育制度、教育事情および文化について相互理解を深め、教職員自身が主体的なチェンジメーカーとして変容していく端緒を開くことです。プログラム活動を通して、出会いや協働を楽しみながら、多様性への理解と尊重を育み、それを次世代へ受け継ぐことを通じて、多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現を目指します。

3. 活動内容

ウェブ会議システムを活用し、以下の活動を行います。

- ・ 動画視聴による日本およびインドの学校視察
- ・ 日本およびインドの教育制度についての講義受講

- ・ 日印教職員間の意見交換、交流会
- ・ 日印の児童生徒対象のワークショップ

4. 日程（暫定）

本プログラムは、「学校外に広がるネットワーク、地域同士が繋がるネットワーク、共同財産としての教育・文化多様性」を全体テーマに据え、下記の日程で実施される予定です。

日付	日程	時間	通信拠点 (会場)	活動
11月6日 (日)	第1日	13:30-17:00	東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会式 ・ プログラムオリエンテーション ・ 日本およびインドの教育制度に関する講義 ・ 参加者の自己紹介、意見交換等 ・ 文化体験（日本）
映像視聴期間①				
11月17日 (木)	第2日	14:00-16:00	東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員交流会（映像に基づく意見交換・交流会）
映像視聴期間②				
11月21日 (月)	第3日	14:00-16:00	東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日印の児童生徒対象ワークショップ
11月22日 (火)	第4日	14:00-16:00	東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員交流会（映像に基づく意見交換・交流会）
11月27日 (日)	第5日	13:30-16:30	東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告会 ・ 閉会式 ・ 文化体験（インド）

※状況に応じて、予定を変更させていただく場合もございます。

※11月6日（日）、11月21日（月）にはゲスト講師による講義・ワークショップを予定しています。

※11月27日（日）に限り日本国内（東京都内）の対面会合を予定しています。

5. 通訳

日本語の動画には英語字幕がつけられる。英語の動画には日本語字幕がつけられる。

公式プログラムには原則として日本語と英語間の同時／逐次通訳が手配される。

6. 参加者

インドの初等中等教職員 15名（MoE 職員および CEE の職員 1～2名を除く）

日本の初等中等教職員 15名（15名のうち10名は公募による参加）

※日印の児童生徒対象ワークショップには、各参加者が最大3名の児童生徒を招待することができます。詳細は参加が決定した方にお知らせします。

7. 参加資格

- (1) 日本語または英語での会話が可能であること

- (2) 自身でオンライン交流に必要な機材を用意し、操作ができること(パソコンが望ましい)
- (3) プログラムの全日程に意欲をもって参加が可能であること
- (4) 日本の初等中等教育の教職員(教育行政官及び教育専門家を含む)であること
- (5) 日本国籍を有すること
- (6) 将来にわたって、国際交流を通じた相互理解の推進、平和で持続可能な社会の実現に寄与する意欲があること

8. 評価と報告

参加者は2022年12月4日(日)までにアンケート票を提出してください。

9. 注意事項

- (1) オンライン交流への参加にあたって必要な機材の調達、通信その他にかかる諸経費については、各自が負担することとする。
- (2) プログラム期間中および事前の円滑な情報共有および継続的な交流のため、参加者は、ACCUが運営する会員制SNS「Asia-Pacific Educator's Platform: TREE」への会員登録を行うこと。

10. 応募書類

参加を希望する場合は、期日までに申請用紙(指定様式)を電子メールで送信してください。手書きの文書は受け付けません。指定様式はホームページからダウンロードできます。

・申請用紙(指定様式)

ファイル名: 2022_インド招へい参加者申請用紙(〇〇〇〇〇)

- ファイル名にある〇〇〇〇〇は応募者のお名前に替えてください。
- Excelファイルのまま送信してください。

11. 応募書類の送信先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)国際教育交流部

Email: accu-exchange_ml@accu.or.jp

メールの件名を「インド教職員招へいプログラム応募(〇〇〇〇〇)」とし、〇〇〇〇〇は応募者のお名前に替えてください。

12. 応募締切日時

2022年10月12日(水) 正午

13. 選考

先着順で応募を受け付け、定員に達し次第締め切ります。

14. その他

以下に関して、あらかじめ了承した上で応募してください。

- 参加者の個人情報についてはプログラム運営・評価・フォローアップ以外の目的では使用せず、

厳重に管理するとともに個人情報の保護に努めます。なお、プログラム中に撮影した写真等は、ACCU や文部科学省の報告書・冊子・ホームページ等の情報媒体に使用されることがありますのであらかじめ了承下さい。

15. お問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）国際教育交流部（高松・蓮見）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

TEL: 03-5577-2853 FAX: 03-5577-2854 Email: accu-exchange_ml@accu.or.jp